講義内容詳細：司法通訳（スペイン語）Ⅱ

年度	Academic Year 2021
授業科目名	司法通訳（スペイン語）Ⅱ
学期	秋学期
教員名	中西智恵美

講義概要
裁判や捜査、弁護人接見等、法律がからむ場面での通訳に際し注意すべき点などの 理解をさらに深めるとともに、通訳の基礎訓練を通じて実践で使えるスペイン語の知識や 通訳技能の基礎を学ぶ。（オンライン）

達成目標
法廷通訳など日本の法律がからむ様々な場面での通訳をするのに必要な 知識と技能を身につける。

履修条件（前に履修しておくことが望ましい科目など）
通訳訓練に必要なレベルのスペイン語と日本語の語学力があり、 好奇心と向学心を持って勉強を続けられること。 司法通訳（スペイン語）Ⅰを履修していること。 なお、サイトラの回は授業中に教材印字をするため、自宅にプリンターが必要。

授業計画		
1	授業計画	各種事件の起訴状の翻訳・通訳の注意点（全般）
	事前学習	法廷通訳ハンドブックの該当ページを眺めておく
	事後学習	授業ノートの再確認
2	授業計画	窃盗事件の模擬公判6（論告・求刑）
	事前学習	事前に渡しておく「書面」の翻訳（通訳準備）
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
3	授業計画	窃盗事件の模擬公判7（弁論）
	事前学習	事前に渡しておく「書面」の翻訳（通訳準備）
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
4	授業計画	窃盗事件の模擬公判8（最終陳述、判決言い渡し）
	事前学習	事前に渡しておく「書面」の翻訳（通訳準備）
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認

5	授業計画	短文通訳練習、長文サイトラ練習など
	事前学習	今までのノートの読み返し
	事後学習	授業ノートで訳し方や注意点の再確認
6	授業計画	入管法関係、弁護人接見の通訳訓練1
	事前学習	入管法に関する記事などを読んでみる
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
7	授業計画	弁護人接見の通訳訓練2
	事前学習	今までのノートの読み返し
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
8	授業計画	薬物事件の通訳の注意点と語彙の確認、取り調べ通訳訓練
	事前学習	近年起きた薬物がらみの事件について調べてみる
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
9	授業計画	自動車運転に関する法律と事件
	事前学習	必要になりそうな単語などを想像し、調べておく
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
10	授業計画	傷害事件、殺人事件など
	事前学習	必要になりそうな単語などを想像し、調べておく
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
11	授業計画	通訳面から見た民事事件と刑事事件の違いなど
	事前学習	近年ニュースになったトラブルなどを思い出してみる
	事後学習	授業ノートの読み返し
12	授業計画	少年審判についての注意点や語彙確認など
	事前学習	過去に起きた少年事件について少し調べてみる
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認
13	授業計画	裁判員裁判の通訳に関する注意点など
	事前学習	近年行われた裁判員裁判について少し調べてみる
	事後学習	授業ノートを読み返す
14	授業計画	控訴審の通訳に関する注意点など
	事前学習	授業で使った一審のストーリーを思い出し、整理しておく
	事後学習	授業ノートで語彙や訳し方、注意点などを再確認

15	授業計画	まとめと理解度確認(試験)
	事前学習	今学期学んだ法律用語や訳し方、注意点などを再確認
	事後学習	難しかった点などを振り返る

授業方法
模擬法廷を含め、実際にいろいろ訳す機会を多く設ける。 説明中にも当てて答えてもらうことがある。論告・弁論要旨の翻訳など、 事前準備が必要な回も少しあるので要注意。

成績評価方法
成績は理解度確認試験の点数と授業態度、授業中の通訳上達度などで 総合評価する。

講義内容詳細：司法通訳（ベトナム語）Ⅱ

年度	Academic year 2021
授業科目名	司法通訳Ⅱ
学期	秋学期
教員名	Tran Thi My

講義概要

捜査段階の司法通訳人として心得なければならない事項を学んでいく。春学期で学んだ技術をさらにブラッシュアップするために、毎回欠かさず「通訳してみる」を行う。

達成目標

本授業の達成目標は、2つある。1つ目は、司法通訳がいかなる行為であるか、ビジネス通訳や医療通訳など他の分野とはいかなる共通点・相違点があるか、いかなる心構え、役割および知識が求められているかを理解することである。2つ目は、現場に即した教材を活用してノートテイキングや定型文言の訳出訓練など様々な通訳訓練を通して、実践的技能を体得することである。

履修条件（前に履修しておくことが望ましい科目など）

春学期で「司法通訳I」を履修すること。

授業計画

1	授業計画	授業内容の説明、犯罪の発生から被疑者の逮捕までの流れ
	事前学習	前期で学んだ通訳技術を復習しておく
	事後学習	授業で学んだ手続の内容を復習する
2	授業計画	検察官が事件を受理した後の手続
	事前学習	第1回の授業で学んだ手続の内容を復習しておく
	事後学習	第1回と第2回の授業で学んだ手続を自分で図式化してみる
3	授業計画	刑事手続全般(1)
	事前学習	刑事手続とは何かを調べておく
	事後学習	授業で学んだ内容を復習する
4	授業計画	刑事手続全般(2)
	事前学習	どのような機関が犯罪の捜査をするかを調べておく
	事後学習	刑事手続全般(1)、(2)を復習する

5	授業計画	刑事手続全般⑶
	事前学習	被疑者、参考人とはどのような人をいうかを調べておく
	事後学習	刑事手続全般⑴、⑵、⑶を復習する
6	授業計画	被疑者の逮捕・勾留など⑴
	事前学習	逮捕とはどのような手続であるかを調べておく
	事後学習	授業で学んだ内容を復習する
7	授業計画	被疑者の逮捕・勾留等⑵
	事前学習	勾留とはどのような手続であるかを調べておく
	事後学習	被疑者の逮捕・勾留等⑴、⑵を復習する
8	授業計画	取調べの手続
	事前学習	黙秘権、供述調書について調べておく
	事後学習	供述調書の作成目的を整理して、復習する
9	授業計画	供述調書の通訳実習＆グループディスカッション
	事前学習	自分が供述調書を通訳する状況をイメージしてみる
	事後学習	供述調書の通訳実習で行った訳出に対して問題点を洗い出して、改善の方法を考える
10	授業計画	捜査手続における通訳⑴
	事前学習	捜査段階の司法通訳人はどのような点に留意する必要があるかを考えておく
	事後学習	授業で学んだ内容をこれまで考えていた司法通訳人の役割と照らし合わせて整理する
11	授業計画	捜査手続における通訳⑵グループディスカッション
	事前学習	検察官の質問の意味を理解できなかった時の対処法を考えておく
	事後学習	授業で議論した各対処法の良し悪しを考えて、整理する
12	授業計画	捜査手続における通訳⑶グループディスカッション
	事前学習	被疑者から説明などを求められた時の対処法を考えておく
	事後学習	授業で議論した各対処法の良し悪しを考えて、整理する

13	授業計画	実習①：接見および中間調べ
	事前学習	これまで接見および中間調べについて学んだ内容を復習しておく
	事後学習	課題①：第14回の授業でのグループ発表に向けて、役割分担やスクリプト作成などの準備に着手する
14	授業計画	課題①接見（あるいは、中間調べ）の模擬演習　グループ発表＆ディスカッション
	事前学習	グループメンバーとリハーサルをしておく
	事後学習	自分のグループと他のグループの発表内容を振り返って、事前配布資料⑴＆⑵に対してPPTの作成などグループ発表の準備をする
15	授業計画	課題②事前配布資料⑴＆⑵ グループ発表＆ディスカッション
	事前学習	自分のグループが担当する資料に対して各準備作業を完了させ、他のグループが担当する資料に対して疑問点や感想などを考えておく
	事後学習	授業でのグループ発表＆ディスカッションの内容、そして秋学期で学んだことを振り返って、整理する

授業方法
講義の際は、講師と受講者のやり取りを交えた双方向で行う。ディスカッションの際は、受講者は主体的・能動的に参加し、講師は適宜コメントする。

成績評価方法
課題：40%、授業中のパフォーマンスと出席状況：60%